



町長回誌 No.136

町長日誌の第136号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

2月16日(月) PM2:00

各地で開催される冬のイベントもピークを過ぎたようで、当町の冬まつりも一昨日開催されました。2月もはや後半になりましたが、今年は未だに流氷がしっかりと接岸していません。毎週のようにオホーツク海側の荒れ模様が続いてはいますが、幸い紋別から北の私たちの地域は羅臼や網走方面の様な大荒れ・猛吹雪にはならず済んでいます。今日も昼ごろから少し吹雪模様になりだしていますが、どうも今年は暖かいようで、濡れ雪が降っています。

さて、役場では確定申告が始まりました。また、町の新年度予算編成も終わり、3月9日から始まる定例町議会に提案し決めて頂く予定です。今年は町長選挙の年ですから本格的予算は6月になるのですが、バイオガス施設建設事業の予算を見込みましたので、昨年度よりも大きな予算規模となりそうです。しかし、何とか基金を取り崩さずに予算を組めました。町長になった頃は毎年何億円も基金を崩さなければ予算が組めなかったのですが、町民の皆さんの応援のお蔭で普通に予算編成が出来る町になったのです。感謝です。

1月21日(水)

紋別市で「バイオマスシンポジウム」が開催され私が講師として町が進めるバイオマス産業都市構想を説明させて頂きました。このシンポジウムは道庁経済部が主催となって全道4会場でバイオマスの啓蒙普及を目的に行う事業で、私は昨年帯広会場でも講演させて頂き、今回2度目となりました。さて、本町は酪農の町で5万トンの生乳を生産していますが、排せつ物も牛1頭当たり1日50kg、1年に約2トン排せつされます。1万頭の乳牛がいれば何と2万トンにもなるのです。勿論、これは大切な有機肥料となりますが、一戸当たりの規模が年々大きくなる中で畑への還元が出来ない、たい肥として発酵が不十分など多くの弊害が出ることもあります。また、春先や暑い夏などに畑に散布時の臭いは農家以外の皆さんには、強烈な悪臭であり洗濯物も干せないとの苦情が私のところにも数多く寄せられてきました。この事の改善に何とか取り組みたいと考えていた時、牛の糞尿からとれるメタンガスの事を思い出し、これまで様々な試行錯誤を行ってきました。ガスを発生させた糞尿は「液肥」と呼ばれ臭気は格段に低下しますし、肥料としても扱いやすい有効なものになり、発生したメタンガスはプロパンガスの代わりにもなりますし、ガス発電も出来るのです。因みに、牛1頭が1日に生産するガス量は、皆さんが家庭で使われるカートリッジのガスボンベ1本分になります。現在、豊野の支倉牧場では平成18年から実験施設としてバイオガスプラントが稼働しており、皆さんのご家庭から出される生ごみはすべてここで処理されガスの素になっています。また、北興の松村牧場で昨年からの建設中のプラントはこの春から発電を行います。そして、町が北興地区に6戸の農家から糞尿を集めるバイオガスプラントを27、28年度で建設し、臭気対策と併せて将来の自給エネルギーとしての研究や調査も行う予定です。これらの計画が、昨年3月に国から認証されました「バイオマス産業都市構想」なのです。

2月2日(月)

西興部村の新しい村長になられた菊地博さんが就任のご挨拶に見えられました。菊地さんは私と同じ年なのですが、学校も異なるため知ってはいましたが今迄話をしたことがありませんでした。初めてご挨拶をさせて頂き、お話をしているうちに小学校時代に菊地さんの母校である旧上藻小学校で卓球をしたことを思い出しました。今から43年も昔の事です。その二人が、首長の職に就きお会いするのも何かのご縁かと思っています。今、国は農協改革を進めようとしています。長い間農協の参事として活躍された経験が、我々オホーツク町村会の農政対策には貴重な戦力になるものと期待しています。

はじめの方で、確定申告に触れましたが言うまでも無く「納税」は私たちの義務ですが、年々滞納額が増えており、3月議会には法的な対応も行う滞納対策の条例を制定する予定です。電気量上がるなど生活には厳しいご時世ですが町を運営するための町民としてのご負担ですので、ご協力をお願いいたします。また、インフルエンザが流行しています。来月は高校入試や卒業式があります。風邪などひかぬようご自愛ください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。